

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1439
施設名	葛飾高砂たいよう保育園
施設所在地	東京都葛飾区高砂7-15-11
法人名	社会福祉法人まあれ愛恵会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然体験

<テーマの設定理由>

昨年度の5歳児が活動で行っていたことに憧れを持ち、お米作りへの期待感を感じた。また食事への意欲が比較的少ない様子だったため自分で作る活動を通して、大変だった、頑張った、おいしかったなどの気持ちや作った達成感を感じてほしい

2. 活動スケジュール

- ・田植えを行い、ものづくりの大変さや喜びを感じる（5月）
- ・田の草取り・水生生物探しをする（6月）
- ・稲刈りを保護者の方と一緒に鎌で刈る（9月）
- ・園内研修等用いて職員に活動報告
- ・米の脱穀、精米を行う。（10月～12月）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・土に触れる

実際に子どもたち自身が作るバケツ稲の土づくりから子どもたちが行う。ドロドロや水っぽさなど様々な感触を味わう。

・観察する

日々の観察を行い、稲の生長を喜ぶ。

・田植え体験を行う

実際の田んぼに入って、苗を田んぼに植える。

・田の草取りを行う

保護者の方と一緒に田の草取りを行い、その後田んぼの中の生き物探しを行う。

・収穫をする

実際に鎌を使って保護者と一緒に稲の収穫を行う。

・米の脱穀・精米

米の脱穀をみなで協力しながら行い、精米にする

・精米にしたお米を使っておにぎりパーティーを実施する

米を洗い、ガラス窯で米を炊く。炊けたご飯でおにぎりを握る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

ドロドロの田んぼ中に足を踏み入れると感じたことのない感触に驚いた表情をしていた子どもたち。「大丈夫？歩ける？」と保育者が聞くと、「歩きづらいけど平気！」と田植えに意欲的な様子が見られた。また水生生物遠足では普段保育園や公園で見かけない生き物に興味深々。果敢に探し捕まえる子どもやかごの中から観察しようとする子ども、様々な表情を見せる子どもたちに保育者も思わず「子どもによって全然違う、、、」と改めて感じている様子だった。また意外にも平気な子どももあり、触れたことへの達成感を感じていた。稲刈りでは、手のひらサイズで植えた苗が子どもたちの身長を越してしまうくらい大きく成長して子どもたちも驚いていた。またおにぎりパーティーでは「いつも食べているお米の色と少し金色みたいなお米もあるね」と精米した白米ともみ殻が摂り切れなかったお米を見て不思議そうにしていた。また時間が経つとフツフツと音を立てながら炊きあがっていく。香ばしい香りが部屋いっぱいに広がり完成も上がる。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・ 田んぼの感触に戸惑う姿も見られたが、保育者や友だちが入っている姿を見ながら少しずつ挑戦しようとする気持ちが芽生えたことが子どもにとって大きく成長した場面
- ・ 大自然の中で夢中になってお米に向き合う姿から食物への感謝がより感じられるきっかけとなった。